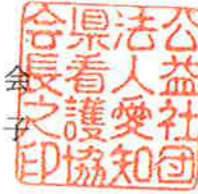


令和2年12月7日

愛知県知事
大村秀章 殿

公益社団法人 愛知県看護協会
会 長 三浦昌子



**新型コロナウイルス感染症の影響下における
令和3年度新人看護職員の実践能力確保のための支援に関する要望**

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大により、看護基礎教育の臨地実習について、感染防止の観点から、期間の短縮、人数や領域の制限、そして地域によっては実習の受け入れ中止等の事態が生じています。

臨地実習は、講義・演習で学んだ知識・技術・態度を、実際の看護の場で統合し、看護の理論と対象に応じた実践を結び付けて体得する、看護職の養成において極めて重要な過程です。

養成所・大学等における教育の工夫と学生の努力によって、専門職として必要な知識・技術の習得に励み、必要な卒業要件は満たしたとしても、令和3年度の新人看護職員は、従来よりも臨床での経験が少ないことが懸念されます。

臨地実習の機会を十分に持てないまま実践の場にすることで、看護職としての適性や能力への不安を抱えることが危惧されます。こうしたリアリティ・ショックは、かねてより看護職の離職の原因として指摘されています。新人看護職員の定着には、実践能力を向上させるための教育・支援が必要です。

新人看護職員に対する例年よりも手厚い教育体制の整備、臨地実習の経験不足を補う教育への支援に、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

要望事項

1. 令和3年度新人看護職員を受け入れる医療機関等に対し、「地域医療介護総合確保基金」による新人看護職員の教育に関する支援の強化を講じられたい。

2. 「看護職員卒後フォローアップ研修事業」(令和3年度 厚生労働省概算要求) を確実に実施・推進されたい。

1. 令和3年度 新人看護職員を受け入れる医療機関等に対する

「地域医療介護総合確保基金」による新人看護職員の教育に関する支援の強化
新型コロナウイルス感染症の終息はいまだ見通しが立たず、下記医療機関は変化する状況に対応しながら医療・看護提供体制を維持し、県民の健康と安全を守るために最善を尽くしている。

こうした状況下で、新人看護職員の指導を担う看護職の負担を軽減しつつ、臨地実習の経験を積めなかった新人看護職員が実践能力を高めるためには、指導を担う要員のより充実した配置や、新たな教材・機材の購入経費等の支援が必要である。

また、自施設では研修が難しい複数の医療機関から新人看護職員を受け入れて、合同研修を行う医療機関は、密を避けるため人員を制限して回数を増やすなどの研修方法の工夫が求められ、例年にも増して財政的な支援が必要である。

そこで、医療機関における新人看護職員研修の強化のために「地域医療介護総合確保基金」による「新人看護職員研修事業」に対する配分の増額を講じられたい。

2. 「看護職員卒後フォローアップ研修事業」(令和3年度 厚生労働省概算要求)の確実な実施・推進

国の令和3年度予算概算要求において、厚生労働省から「新型コロナウイルスの影響に係る看護職員卒後フォローアップ研修事業」が挙げられている。この事業は、都道府県が養成所・大学等に対し、令和3年度新人看護職員の臨地実習の経験不足を補うことを目的に、就業先の新人看護職員研修では補えない領域や分野等について臨床現場での体験学習を主とする研修を委託する内容である。

看護基礎教育においては幅広く多様な分野ごとに臨地実習を行うが、地域によっては臨地実習の受け入れ中止期間の影響により、いずれかの分野の臨地実習の経験が極めて少ないケースや、患者と接する機会を十分にもてないまま実戦の場に入職する可能性もある。

このような状況を鑑み、新人看護職員の実践能力向上のため、養成所・大学等と綿密に連携し、確実な実施・推進をはかられたい。

以上